

和歌山病院での実習を終えて



武田 理紗

今回、第3内科での臨床実習の一環として、12月19、20日の2日間、和歌山病院で実習させていただきました。

様々なセミナーを受けさせていただきましたが、やはり印象に残ったのは南方院長先生のレントゲンのセミナーです。一方通行なセミナーではなく、先生が私たちに問いかけて、私たちの答えをふまえてセミナーが進んでいくという双方向のセミナーで、楽しく学ぶことができました。シルエットサインなどの無理やり丸暗記していた知識を論理的に考えることができるようになりました。今までなんとなくレントゲンに苦手意識を持っていたのですが、このセミナーでレントゲンを読影するのが面白いと感ずることができました。これから、自分で考えることができる医師を目指して勉学に励もうと思います。

駿田副院長先生のセミナーでは結核の基本的なことについて学びました。また、実際に結核病棟に行って、N95マスクの着け方や結核菌を外に出さないようにする仕組みを教えてくださいいただきました。N95マスクは初めて着けましたが、想像より息が苦しくなりやすくて驚きました。

最後になりましたが、お忙しい中熱心に指導して下さった南方院長先生、駿田副院長先生をはじめとした先生方、実習の準備やサポートをして下さった病院の職員の方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。